

選挙管理委員会事務局の取り組み実績

■ 基本方針 ■

選挙は、有権者が政治に参加する最も重要な基本的な機会であることから、選挙事務の適正な管理執行に努めるとともに、投票しやすい環境づくりや、政治への関心を高める取り組みを進めます。

実績

選挙事務の適正な管理執行を確保するため通年で OJT を実施したほか、府内選管で組織する研究会への参加、他市との情報交換会などを実施し、必要な知識の習得や事務改善を行った。また、各種講座や大学祭での啓発を通して、政治や選挙への関心を高める取り組みを行った。

I 重点施策・事業

◆選挙事務の適正な管理執行

●任期満了（平成 25 年 7 月 28 日）に伴う参議院議員通常選挙について、公正、適正かつ効率的な選挙事務の管理執行に努めます。

●任期満了（平成 25 年 12 月 4 日）に伴う津田財産区議会議員選挙について、公正、適正かつ効率的な選挙事務の管理執行に努めます。

実績

7 月 21 日の参議院議員通常選挙及び 12 月 4 日の津田財産区議会議員選挙の執行にあたっては、課題対応を含め周到な準備を行い円滑に執行した。特に参院選では、選挙日程が公示日直前まで見通しが立たなかったが、状況に応じた対応・対策を実施し適正に執行した。

◆投票所の環境づくり

●障害者や高齢者が投票しやすいように、投票所にスロープを設置するなどバリアフリー化に努めます。

実績

現地調査を基に、投票場所を体育館から段差の少ない図書室等への変更を新たに小学校 6 校で行ったほか、投票所の状況に応じてスロープ等の設置・改善を行った。

◆選挙啓発事業の推進

●有権者が政治への関心を高めるため、講座やセミナーの実施などの取り組みを、明るい選挙推進協議会と共同して進めます。

●将来の有権者である小・中学生を対象に、選挙に関するポスターコンクールを開催します。

●若年層の投票率を向上させる取り組みとして、市内大学での啓発活動を行います。

実績

- ・白バラ講座の開催「(テーマ) ニュースの裏側から見る、政治・経済」(参加者: 816 名)
- ・白ばらセミナーの開催「(テーマ)「連帯型社会のつくり方ー社会参加から始まる地域づくり」(参加者: 125 名)
- ・摂南大学枚方キャンパスの学園祭での若年者啓発(アンケート実施: 回答者 300 名)
- ・市内小中学対象ポスターコンクール実施(応募数: 小学生 422 点・中学生 17 点)
- ・参院選選挙時の選挙啓発用ポケットティッシュ配布

II 行政改革・業務改善

<業務改善のテーマ・目標>

事務事業	取り組み内容・目標
開票作業の時間短縮(前回参院選比)	人員配置や作業の見直しを行い、開票時間の短縮を図ることで執行経費削減につなげる。

実績

迅速且つ適正な開票作業を行うため、作業工程の見直しや担当責任者への事前打ち合わせを入念に行った。その結果、従事者を前回参院選(平成 22 年)より 1 割削減したが、前回とほぼ同時刻に作業を完了した。

Ⅲ 予算編成・執行

◆参議院議員通常選挙の執行では、国会議員の選挙等の執行経費の基準法改正に伴う大幅な費用削減に対応するため、事務経費の見直しをさらに行うとともに、財産区議会議員選挙の執行においても、国の選挙の基準に準じて、引続き事務の効率化を進め、経費削減に努めます。

実績

国の選挙執行経費基準額が前回参院選に比べ1700万円の大幅削減に対応するため、執行経費を0ベースで見直し、投票立会人等の削減・投票速報システムのASP化・選挙備品更新の見送り等を行い国基準内に収めた。

Ⅳ 組織運営・人材育成

◆事務局内における情報の共有化を図ります。

実績

選挙に関する情報や様々な課題について、日頃から全員で情報を共有し事務改善・経費削減・必要な対応などの議論を行い、組織として課題解決に努めた。

◆公職選挙法の知識をより深めるために、府下各市の選挙管理委員会で開催する研究会へ参加するとともに、職場での勉強会を開催し、職員力の向上に努めます。

実績

- ・大阪府都市選挙管理委員会連合会選挙事務研究会：3回参加
 - ・東部ブロック（北河内7市）選挙事務研究会：3回参加
 - ・大阪府都市選挙管理委員会連合会初級研修：1回参加
- 各研究会の参加に際して、事前に全員で研究課題をディスカッション形式で検討し、情報共有を行うことにより、職員力の向上を図った。

Ⅴ 広報・情報発信

◆<ホームページの充実>

選挙に関する各種情報や過去の選挙の記録を、有権者によりわかりやすく情報発信します。

実績

「過去の選挙結果」の掲載内容を見直し、冊子「選挙記録」のホームページでの掲載（平成16年以降執行分に限る）に変更したほか、啓発活動などの情報掲載など見やすくわかりやすい情報提供に努めた。

◆<タイムリーな情報の発信>

ツイッターを利用して、入場整理券の発送や期日前投票の開始など、タイムリーな情報を発信します。

実績

参院選公示日1週間前からホームページやツイッターで選挙状況、選挙公報配布状況、期日前投票状況などの情報をほぼ連日配信したほか、投票日当日は行政防災無線も活用して選挙周知に努めた。

◆<投・開票結果の速やかな提供>

投・開票結果については、広報課と連携し、ホームページなどで、できるだけ速やかな情報提供に努めます。

実績

期日前投票の状況を翌朝にホームページで掲載したほか、当日、投票速報を8時から20時まで1時間ごとに、開票速報を22時現在から開票終了まで30分ごとにホームページに掲載した。掲載にあたっては広報課との打ち合わせを徹底し、スムーズな情報提供を行った。